

学校だより

横浜市情報ネットワーク（ＹＹネット）上に本校のホームページがあります。

URL : <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tookaichiba/>

横浜市立十日市場小学校

令和5年1月31日(火)

緑区十日市場町1392番地-1

電話 : 981-0420

FAX : 983-1694

大人は皆「伯楽」

副校長 石塚 敦郎

寒い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。このような日々ではありますが、空気が澄みわたり、校舎の4階まで上がると遠くの丹沢の山肌までよく見通すことができます。また、夜空にはオリオン座をはじめ、多くの輝く星たちをはっきりと見ることができます。一方、黒い雪雲が流れてくると、空は他の季節以上にどんよりとしてきます。さらに4年目に入った感染症は相変わらず終息の兆しを見せないため先をなかなか見通せず、今一つすっきり晴れない感じが続いていることも事実です。

さて、今年度も2月に入り、年度末の3月もすぐそこです。来年度へ向けて見通しをつけるために、この1年間のまとめを学校ではしているところです。この1年で子どもたちは大きく成長しました。私もいくつかの校外学習に引率しましたが、校内だけでは見ることができない子どもたちの姿を多く知ることができました。見学先等で関わった方々からうれしい言葉もいただきました。在校生には十小のリーダーとして、卒業をしていく6年生には中学校のリーダーとして、大きく成長していってくれることを期待しています。この春の進級・進学が楽しみです。このことは学校だけでなく、これまで子どもたちを認め、育ててきた家庭・地域はもちろん、子どもたちにいろいろな形で関わる周りの大人たちの存在がとても大きかったのではないかと考えています。

ところで、『韓非子』という書物に、「名馬は常にあれども伯楽は常には非ず」という、一日に千里を走る名馬に関する節があります。意識すると「いつの世でも有能な人材は多くいる。ただ、それを見出す目をもった人材はいつもいるとは限らない。」ということだそうです。この一節を踏まえると、教師は子どもたちの良さを”見出す人材”、「伯楽」たるべきだと強く思います。そのためには、常日頃より子どもたちを様々な角度から見る目を磨いていかななくてはなりません。

一方、子どもたちは学校を出れば、様々な角度から良さを認めてくれる多くの大人たちがいます。「常には非ず」かもしれませんが、「伯楽」に出会うチャンスは「ある」と思います。大人たちがそれぞれの角度から子どもたちの良さを見出してくれる機会が広がっています。学校外で子どもたちは、教師ではうかがい知れない様々な姿を見せているものと思われれます。そこで「伯楽」である大人たちが手を携え、この良さを認める雰囲気をごんごん広げていけたらどれだけ素晴らしいことでしょう。子どもたちには、あらゆる機会を生かしてその良さを、持てる力を、ごんごん伸ばしていってくれることを期待しています。

子どもたちを取り囲む大人たちが連携して、できることから一つずつ手を取り合いながら、子どもたちのためにできることを、たとえ小さなことからでも、今後とも引き続き共に考えていけるこの関係を更に発展させていけたらと思います。

私も非力ながらできることを考え、取り組んでまいりたいと思います。来るべき春へ向けて、コロナですっきりしないもやもやも吹き飛ばして、心の中にまで晴れの日差しが降り注いでくれることを期待して。